



光 和

5月号
練馬区立光和小学校
平成30年4月27日
校長 城崎 真



お兄さんお姉さんになりました！ 元気いっぱい二年生！

☆二年生になって

始業式後、早速二年生として、入学式で歓迎の出し物を披露しました。

学校の楽しいところ、おいしい給食のこと、歌「一年生になったら」、合奏など、一年生が今後の学校生活を楽しくみに行けるような内容で発表しました。

「緊張する。」と言っていた子供たちもいました。が、本番での姿はしっかりと「二年生」でした。

学年開きの集会では、「力をあわせる二年生」という内容で、全員で協力したり支え合ったりすること



↑生活科のグループ活動

で、大きな力となることを話しました。これから一年間で大きく成長できるように指導していきます。

☆生活

みんなが大好きな給食の時間。熱いものは教師も手助けすることもありますが、おぼんを使って丁寧に運んだり、同じ量をお皿によそったりするなど、一年生で一年間教わってきたことができています。

今後は、「○○さん、おはようございます。」と相手の名前をつけたり、あいさつのあとに一言付け加えたりするなど、心を通わせた挨拶ができる二年生を目指し、教員が率先して行い、手本となっていくます。

☆学習

算数では、たし算のひっさんを学習しました。自分の考えを書くだけでなく、友達への考えも聞きながら学習を深められるような活動を取り入れています。国語では、「ふきのとう」

の学習を通して、主人公の気持ちを考えながら、読むことを学習しています。音読発表会に向けて、役割に分かれて練習中です。

生活科では、好きなところや光和小のよいところを、一年生に分かりやすく案内しながら紹介するための準備をしています。一年生の気持ちや様子などを考えながら、一年生に優しく接し、二年生になった自分自身の成長に気付き、今後の学校生活に意欲をもってほしいと考えています。

☆実行委員と学年スピーチ

一人一役としてみんなが活躍できるように、各学級で、行事の実行委員と、学年朝会でスピーチをする担当を決めました。実行委員は、学校行事で学年の中心となつて活動を企画してくれる、大切な役割です。スピーチでは、学習・生活・ふりかえり・行事について、各クラス一人ずつスピーチをしています。どちらも、子供たちがいきいきと活動し、達成感を味わえるよう、サポートしていきます。

(文責 二年 山下 江梨子)

四季折々

校長 城崎 真

「光和小っ子の自慢」

光和小学校に赴任して、約一ヶ月がたちました。広い学校内をすべって見回りました。よく管理、整理されている部分と改善が必要な部分とを把握することができ、今、改善を進めているところ。その一つとして、傘立てがあります。

午後から雨が降る予報の時、子供たちは傘を持ってきました。児童が教室に入った後、傘立てを見ると、傘がほとんど寝た状態になっています。いろいろなことがきちんとできる光和の子がどうしたのだらうと思いついて始めると、傘が滑って寝てしまうことが分かりました。そこで、人工芝を全ての傘立てに敷いてもらいました。滑るという原因は改善されたのに、傘はまだ寝ています。後は、指導して改善を図るしかありません。光和の子ならそう難しいことではないと思っています。

では、自慢話を始めます。まずは、あいさつです。朝の気持ちのよいあいさつに始まり、廊下でも、休み時間の校庭でもわざわざ近寄ってきてあいさつしてくれます。校長室に訪ねてきた子は、「〇年〇組の、〇〇です。(用件)できました。今、お時間大丈夫ですか。」と。2番目は、『時間前行動』です。これだけの大人数が時間前に集合を完了し、自分たちから静かになることができています。3番目は、『スピーチカの高さ』です。始業式や入学式でも感じたのですが、メモや原稿を見ないで、自分の言葉としてスピーチすることができていました。選び抜かれた代表だから・・・と思っていたのですが、学年朝会でも、同じようにスピーチすることができていました。すばらしいことです。これからも、光和小っ子の自慢をたくさんしていきたいです。